

令和7年度 事業報告書

I 事業実施概要

当財団は、平成9年12月に設立され、平成24年10月1日からは公益財団法人として、その目的である県内における豊かな地域文化と科学技術の振興及び人材の育成並びに「ふれあい」及び「ゆとり」の創造への寄与に努めてまいりました。

令和7年度につきましても、各事業に込められた地域の皆さまの思いや期待に応えるべく、これまでの実績を踏まえた関係団体等とのより密接な連携のもと、状況に応じた効果的な事業の運営を図り、当財団の目的の達成に向けた活動に取り組みました。

II 会議等開催実績

1 理事会

- ・第46回〔通常〕 令和7年5月21日（水） 水戸京成ホテル
- ・第47回〔臨時〕 " 6月13日（金） 書面決議
- ・第48回〔臨時〕 " 18日（水） 水戸京成ホテル
- ・第49回〔臨時〕 " 7月14日（月） 書面決議
- ・第50回〔通常〕 令和8年3月 4日（水） 水戸京成ホテル

2 評議員会

- ・第34回〔定時〕 令和7年6月18日（水） 水戸京成ホテル
- ・第35回〔臨時〕 " 7月31日（木） 書面決議
- ・第36回〔臨時〕 令和8年3月19日（木） 水戸京成ホテル

3 監事監査

- ・令和6年度事業報告・会計監査
令和7年4月22日（火） 開発公社ビル5階 財団事務所

Ⅲ 事業実施状況

公益目的事業－１

地域文化及び科学技術の振興、並びに青少年等の人材育成に関する事業

（地域文化の振興に関する事業）

- 1- 1 ヴォーカルアンサンブルフェスタいばらきの開催
- 1- 2 ソロコンテストいばらきの開催
- 1- 3 読書をすすめる県民の集いの開催
- 1- 4 茨城県芸術祭参加特別公演団体への支援
- 1- 5 ナイスハート美術展への支援
- 1- 6 茨城県新人演奏会における表彰
- 1- 7 現代茨城作家美術展の開催

（科学技術の振興に関する事業）

- 1- 8 げんでん科学技術振興事業の実施
- 1- 9 理科実験実技研修会等への支援

（青少年等の人材育成に関する事業）

- 1-10 児童思春期精神保健講座等への支援
- 1-11 青少年健全育成茨城県推進大会への支援

（その他小規模支援事業）

- 1-12 小規模支援事業の実施

実施

公益目的事業－２

「ふれあい」及び「ゆとり」の創造に関する事業

（ふれあいの創造に関する事業）

- 2- 1 げんでんふれあい文化講演会の開催
- 2- 2 親と子のふれあい劇場の開催
- 2- 3 茨城県民駅伝競走大会の開催
- 2- 4 げんでんサッカーフェスティバルの開催
- 2- 5 げんでんふれあいバスケットボール教室の開催

（ゆとりの創造に関する事業）

- 2- 6 狂言鑑賞会の開催
- 2- 7 水戸室内管弦楽団定期演奏会（春・秋）への支援
- 2- 8 音楽出前講座への支援
- 2- 9 子どものための音楽会の開催
- 2-10 花いっぱい運動定着化促進事業の実施

（その他小規模支援事業）

- 2-11 小規模支援事業の実施

実施

1-1 ヴォーカルアンサンブルフェスタいばらきの開催

[県合唱連盟の主催、当財団は共催]

県合唱連盟との共催で、少人数の合唱アンサンブルによるコンテスト「ヴォーカルアンサンブルフェスタいばらき」を開催し、優れた団体に『げんでんハーモニー賞』を授与する。

なお、本フェスタは、関東ヴォーカルアンサンブルコンテスト及び声楽アンサンブルコンテスト全国大会への推薦選考を兼ねる。

○ 第28回ヴォーカルアンサンブルフェスタいばらき

各団体による演奏、『げんでんハーモニー賞』の選考及び表彰

3年連続して『げんでんハーモニー賞』を受賞した2つの団体による招待演奏

・開催日 令和8年1月18日（日）

・会場 日立シビックセンター 音楽ホール

・表彰 『げんでんハーモニー賞』

小・中学校の部： 3団体／参加 11団体 常総学院中学校合唱団カンターレ
江戸川学園取手中学校合唱同好会
水戸市立第四中学校合唱部～薔～

高等学校の部： 2団体／参加 9団体 県立鉾田第一高等学校吹奏楽部「混声」
県立土浦第一高等学校合唱部A

一般の部： 10団体／参加 25団体

日立市少年少女合唱団、どんぐりの会合唱団、コーロ ウナ・カシータ、女声アンサンブル Lotus、コール水戸、コール・ヴィステリー、茨城ユースクワイア、グリーン・エコーズ&コロ・フィーノ、NHK水戸児童合唱団、茨城大学混声合唱団

・関東ヴォーカルアンサンブルコンテストへの推薦

小・中学校の部：3団体、高等学校の部：5団体、一般の部：1団体

・声楽アンサンブルコンテスト全国大会への推薦

一般の部：1団体



1-2 ソロコンテストいばらきの開催

[県吹奏楽指導者協会の主催、当財団は共催]

県吹奏楽指導者協会との共催で、小・中学生及び高校生を対象にした管楽器、打楽器、コントラバスによる「ソロコンテストいばらき」を開催し、優れた演奏者に『げんでん音楽大賞』及び『げんでん音楽賞』を授与する。

なお、中学生と高校生の受賞者の中からそれぞれ4名程度が、日本吹奏楽指導者協会関東甲信越支部大会の県代表に推薦される。

○ 第28回ソロコンテストいばらき

一次審査通過者による演奏、各賞の選考及び表彰

中学2年次に本県代表として関東甲信越支部大会に出場し第1位を受賞した関根美羽氏（トランペット ひたちなか市出身）による特別演奏

・開催日 令和8年1月17日（土）中学生の部

〃 18日（日）小学生の部、高校生の部

・会場 東海文化センター ホール

・一次審査通過者／申込者

小学生8名／20名、 中学生77名／228名、 高校生54名／143名

・表彰

『げんでん音楽大賞』：小学生の部 佐藤愛奈さん（さとうあいな トランペット 水戸常磐小）

中学生の部 鈴木寧々さん（すずきねね クラリネット 水戸二中）

高校生の部 松尾咲桜さん（まつおさくら フルート 水戸三高）

『げんでん音楽賞』：小学生3名、中学生7名、高校生3名

・関東甲信越支部大会の県代表に推薦：中学生4名、高校生4名



1-3 読書をすすめる県民の集いの開催

[県読書をすすめる協議会、県立図書館の主催、当財団は共催]

県読書をすすめる協議会及び県立図書館との共催で、講演会や事例発表等を行う「読書をすすめる県民の集い」及び絵本や児童書・一般書の読み聞かせを行い優れた個人や団体を表彰する「読み聞かせコンクール」を開催する。

① 第26回読書をすすめる県民の集い

ジェリー・マーティン氏（絵本作家、翻訳家）講演会
「絵本に楽しく親しもう」

- ・開催日 令和7年6月28日（土）
- ・会場 県立図書館
- ・参加者 110名



② 第24回読み聞かせコンクール

絵本や児童書・一般書の読み聞かせ、各賞の選考及び表彰

・開催日、会場、参加者

朗読部門：令和8年2月1日（日）県立図書館 中学生以下の部22名、一般の部44名
自由部門： " 7日（土） " " 3組、 " 8組

・表彰

両部門の各部ごとに、県知事賞、県議会議長賞、県教育長賞、県立図書館長賞、県読書をすすめる協議会長賞、げんでんふれあい茨城財団理事長賞を各1名（組）に授与

・来場者 1日114名、7日50名



1-4 茨城県芸術祭参加特別公演団体への支援

[茨城文化団体連合推薦団体ほかの主催、当財団は協賛]

茨城県芸術祭参加団体のうち、茨城文化団体連合から推薦された団体が実施する特別公演等の記念事業を支援する。

1 茨城県民オペラ協会 創立50周年記念ガラコンサート

- ・主 催 茨城県民オペラ協会、茨城文化団体連合、いばらき文化振興財団ほか
- ・開催日 令和7年10月12日（日）
- ・会 場 水戸市民会館 グロービスホール
(1階席のみ)
- ・曲 目 ビゼー：「カルメン」ハイライト 他
- ・来場者 620名／1,293席



2 茨城交響楽団・茨城県合唱連盟 第九コンサート

- ・主 催 茨城交響楽団、県合唱連盟、茨城文化団体連合、いばらき文化振興財団ほか
- ・開催日 令和7年11月23日（日）
- ・会 場 ザ・ヒロサワ・シティ会館 大ホール
- ・曲 目 ベートーヴェン：交響曲第9番ニ短調（合唱付き）他
- ・来場者 1,025名／1,514席



1-5 ナイスハート美術展への支援

[県、県教育委員会、県障害者スポーツ・文化協会ほかの主催、当財団は特別協賛]

障害児・者の福祉の向上と県民の障害児・者に対する理解と認識を深めるため、障害児・者が制作した作品等を展示する「ナイスハート美術展」及び同美術展で県知事賞等を受賞した作品を巡回展示する「障害のある人が創った作品展」の開催を支援する。

① ナイスハート美術展

障害児・者による美術作品（絵画、書道、写真、陶芸・工芸）411点の展示、各賞の選考及び表彰

- ・開催期間 令和7年12月4日（木）～8日（月）
- ・会場 ザ・ヒロサワ・シティ会館
- ・表彰 県知事賞 : 16点
（最優秀賞4点、優秀賞8点、特別賞4点）
県議会議長賞 : 4点
県身体障害者福祉団体連合会会長賞 : 4点
県心身障害者福祉協会会長賞 : 4点
県精神保健福祉会連合会会長賞 : 4点
実行委員長賞 : 1点
- ・来場者 1,916名



② 障害のある人が創った作品展

ナイスハート美術展の受賞作品を巡回展示

- ・開催期間、会場
令和7年12月11日（木）～18日（木） 県庁2階県政広報コーナー（水戸市）
" 20日（土）～24日（水） 県北生涯学習センター（日立市）
令和8年1月7日（水）～13日（火） 高正U&Iセンターホール（鹿嶋市）



1-6 茨城県新人演奏会における表彰

[いばらき文化振興財団の主催、当財団は協賛]

本県の有望な新人音楽家に発表の機会を提供する「茨城県新人演奏会」において、優秀な成績を収めた音楽家を表彰する。

① 第51回茨城県新人演奏会 公開オーディション 本演奏会に進む音楽家の選考

- ・開催日 令和7年6月15日（日）
- ・会場 ザ・ヒロサワ・シティ会館 大ホール
- ・合格者 16名／応募者45名
- ・来場者 84名／1,514席



② 本演奏会

公開オーディションで合格した音楽家による演奏、各賞の選考及び表彰
前年に新人賞を受賞した井坂実樹氏（フルート 常陸太田市出身）による特別演奏

- ・開催日 令和7年9月28日（日）
- ・会場 ザ・ヒロサワ・シティ会館 大ホール
- ・表彰
新人賞：藤枝麻里花さん（フルート 水戸市出身）
奨励賞：森和樹さん（サクソフォン 土浦市出身）
坂入千智さん（オーボエ 八千代町出身）
聴衆賞：浅沼太陽さん（テノール 龍ヶ崎市出身）
- ・来場者 378名／1,514席



③ 受賞記念演奏会

新人賞及び奨励賞受賞者による演奏

- ・開催日 令和7年12月13日（土）
- ・会場 ザ・ヒロサワ・シティ会館 小ホール
- ・来場者 164名／390席



1-7 現代茨城作家美術展の開催

[茨城県美術展覧会、県の主催、当財団は特別共催]

茨城県美術展覧会との共催で、所属する美術団体の垣根を越えて集まった本県を代表する作家の作品や、新進気鋭の若手の最新作などを展示する「現代茨城作家美術展（現美展）」を開催する。

なお、本美術展は隔年開催となる。

○ 第14回現代茨城作家美術展 ―さらなる変化を求めて―

日本画、洋画、彫刻、工芸美術、書、写真、デザインの7部門 計82点の展示

- ・開催期間 令和8年1月10日（土）～2月1日（日）
- ・会場 県近代美術館

・会期中の主な催し

出品作家によるギャラリートーク

令和8年1月10日（土）～30日（金）毎日午後2時

高等学校吹奏楽部等によるギャラリーコンサート

令和8年1月12日（月） 茨城高・中

〃 18日（日） 水戸一高

〃 24日（土） 緑岡高

〃 25日（日） 水戸三高

出品作家による公開実技イベント

令和8年1月31日（土） 彫刻

〃 2月 1日（日） 絵画

- ・来場者 延べ8,788名



1-8 げんでん科学技術振興事業の実施

[当財団の主催及び協賛]

小・中学校、義務教育学校、中等教育学校、高等学校及び特別支援学校から科学技術に関する調査研究計画を公募し、優れた計画に助成するとともに、優秀な調査研究成果に『げんでん科学技術振興大賞』、『げんでん科学技術振興奨励賞』等を授与する。

また、県教育委員会主催の「茨城県児童生徒科学研究作品展」など、小・中学生や高校生に科学の面白さや楽しさを体験させることを目的として実施する事業を支援する。

1 第28回げんでん科学技術振興事業 [当財団の主催、茨城新聞社の特別共催]

・助成対象校の決定

選考委員会 小・中学校：令和7年6月10日（火）開発公社ビル5階財団事務所
高等学校： " 12日（木） "
助成対象校 小学校：5校／応募校数・件数 6校 7件
中学校：3校／ " 5校 5件
高等学校：9校／ " 12校 12件

・受賞校の決定

選考委員会 小・中学校：令和7年11月17日（月）開発公社ビル5階財団事務所
高等学校： " 18日（火） "

受賞校

大 賞：東海村立白方小学校、つくば市立竹園東中学校、県立日立第一高等学校

奨励賞：つくば市立並木小学校、神栖市立波崎西小学校

県立土浦第一高等学校附属中学校、県立日立第一高等学校附属中学校

県立緑岡高等学校

特別賞：県立水戸特別支援学校

・表彰式 令和7年12月12日（金）県庁9階講堂



2 県教育委員会主催事業〔当財団は協賛〕

① 第69回茨城県児童生徒科学研究作品展「県展」

「県展」に出展された作品のうち、県知事賞等各賞にあと一步届かなかった優れた作品に『げんでん財団科学賞』を、優れた取り組みを行っている小・中学校に『げんでん財団学校賞』を授与する。

・表彰式 令和7年11月28日（金）県庁9階講堂

『げんでん財団科学賞』：小学生6名、中学生11名、高校生2名

『げんでん財団学校賞』：小学校5校、中学校4校



② 令和7年度いばらきサイエンスキッズ育成事業「科学の甲子園キッズ」

小学5、6年生が理科の実技競技にチャレンジする「科学の甲子園キッズ」において、優秀な成績を収めたチームに、金、銀、銅の各賞を授与する。

・開催日 令和7年11月13日（木）県教育研修センター（笠間市）

金賞：3校3チーム、銀賞：5校5チーム、銅賞：16校23チーム



1-9 理科実験実技研修会等への支援

[県教育研究会理科教育研究部、県高等学校教育研究会の主催、当財団は協賛]

県教育研究会理科教育研究部及び県高等学校教育研究会が開催する科学実験教育に関する研修会等を支援する。

① 小・中学校

県教育研究会理科教育研究部の主催事業

地区ごとに実施：県北、中央、県東、県南、県西

地 区	実施期日	実施会場	実施内容、テーマ
県 北	令和7年8月6日	会瀬青少年の家	天体について ギガスクール構想に係るリアルとデジタルの学び
中 央	〃 6日	小美玉市立納場小学校	実験実技講習（電気の利用実験、顕微鏡のメンテナンス他）
県 東	〃 6日	鉾田市立鉾田南中学校	地層や天体の観測・実験 安全な理科実験の進め方（鉄と硫黄の化合、加熱器具の使い方他）
県 南	〃 4日 〃 5日 〃 20日 〃 22日	土浦市立土浦第一中学校 稲敷市立江戸崎中学校 県立つくばサイエンス高等学校 利根町立利根中学校	化石レプリカづくり他 光の進み方や電気について他 化学分野の実技実験 昆虫の体のづくり、魚類の体のづくりとはたらき他
県 西	〃 21日	結城市立結城南中学校	理科授業に関わる実験実技（薬品の薄め方、顕微鏡の使い方指導、身近な材料での実験他）

② 高等学校

県高等学校教育研究会の主催事業

部門ごとに実施：生物部、理化部、地学部、農業部、工業部、水産部

部 門	実施期日・期間	実施会場	実施内容、テーマ
生物部	令和7年8月5日 ～8月7日 " 6月27日 " 8月18日 " 8月27日 " 11月 6日 令和8年1月30日	国立科学博物館筑波研究施設、県立つくばサイエンス高等学校、県立水海道第一高等学校、ミュージアムパーク茨城県自然博物館、源さんのはちみつ他	夏季研究大会 専門委員会（野外学習、実験指導、環境教育）に分かれて研修実施
理化部	令和7年8月 4日 " 9月18日	県立水戸第一高等学校	物理の実験研修、教材や授業づくりに関する情報交換、授業研修
地学部	令和7年4月 ～令和8年3月	県立土浦第三高等学校他	研究協議（講演）、夏季研究会（能登半島巡検）、合同地区研修会の開催
農業部	令和7年4月 ～令和8年2月	農業関係高等学校農場他	農業教育における研究調査、農業に関する各科目の研究、農業教育に関する見識並びに意見発表
工業部	令和8年1月20日	県立水戸工業高等学校	ロボット製作研修会（ロボット教育の基盤となる知識や技術・技能の習得他）
水産部	令和7年6月 ～令和8年3月	県立海洋高等学校	3Dプリンタを使用した“生きる力”を育成する授業の研究

1-10 児童思春期精神保健講座等への支援

[いはらき思春期保健協会の主催、当財団は協賛]

思春期の子ども達を指導する立場の学校関係者、保護者、学生、心理職、保健師、児童・思春期支援に関心のある方及び医療従事者などを対象にした講座や事例研究会等の開催を支援する。

- ① 第一講座「思春期の子どもと居場所 ―子どもの声を拾い集めて―」
教員や地域支援者等からの問題提起、グループディスカッション等

- ・開催日 令和7年11月30日（日）
- ・会場 常磐大学（水戸市）
- ・参加者 61名



- ② 第二講座「思春期の子どもと居場所 ―おとなにも少しのゆとりを―」
ストレスリダクション演習、質疑応答等

- ・開催日 令和8年1月25日（日）
- ・会場 県立健康プラザ（水戸市）
- ・参加者 58名



1-11 青少年健全育成茨城県推進大会への支援

[県青少年育成協会、青少年育成市町村民会議の主催、当財団は協賛]

青少年の育成に携わる関係者が一堂に会し、相互に果たすべき役割と責務を再確認するとともに、県民に対し地域ぐるみの子ども・若者育成支援活動への積極的な参加を呼びかける「青少年健全育成茨城県推進大会」の開催を支援する。

○ 令和7年度青少年健全育成茨城県推進大会

- ・開催日 令和8年2月10日（火）
- ・会場 ひたちなか市文化会館 大ホール
- ・表彰式及び感謝状贈呈式
- ・佐東亜耶氏（元俳優、（一社）泉鳳（せんほう）代表理事及び（一社）BEAUDOUBLE（ビューダブル）代表理事）講演会
「“ふつうの家庭”ってなんだろう？」—社会的養護の現場から見た、家庭のかたち—
- ・参加者 877名／1,368席



1-12 小規模支援事業の実施

[各種団体等の主催、当財団は協賛]

地域文化及び科学技術の振興、並びに青少年等の人材育成に関する事業の種類に合致し、各種団体等が取り組む特色のある記念行事など、時限的な事業を支援する。

1 ユードムチャレンジカップ 2025 年度全国選抜小学生プログラミング大会 茨城県大会

小学生が作成したコンピュータープログラミング作品の発表、各賞の選考及び表彰

- ・主 催 茨城新聞社、全国新聞社事業協議会
- ・協 力 県立水戸工業高等学校、県立 I T 未来高等学校
- ・開催日 令和 7 年 1 2 月 2 0 日 (土)
- ・会 場 水戸市民会館 ユードムホール
- ・応募数 1 3 7 作品
- ・表 彰 特別賞 7 作品
(県知事賞、県教育長賞、ユードム社長賞、
茨城大学長賞、茨城新聞社長賞、
げんでんふれあい茨城財団理事長賞、
ひと・まちなっとわーく賞)
- 優秀賞 1 2 作品
- アイデア賞 5 作品
- 審査員特別賞 7 校
- ・参加者 約 1 6 0 名



2 第 2 5 回青少年のための科学の祭典・日立大会

将来の日立市の産業を担う子ども達に、学校では体験できない科学体験を提供

- ・主 催 青少年のための科学の祭典・日立大会実行委員会
- ・開催日 令和 7 年 1 1 月 2 3 日 (日)
- ・会 場 日立シビックセンター マーブルホール、ギャラリー、アトリウム等
- ・対象者 県北地域から福島県いわき市(平地区)までの小・中学生
- ・来場者 3, 2 2 1 名



2-1 げんでんふれあい文化講演会の開催

[各団体の主催、当財団は特別協賛又は共催]

各団体との共催または特別協賛として、社会情勢や時局に対応した様々な講演会等を開催する。

1 レイクエコーボランティア文化講演会実行委員会主催事業 [当財団は特別協賛]

吉田恵里香氏（脚本家、小説家）トークショー

「小さな「はて？」から始まる女性活躍 — “わたしらしく” はわたしが決める—」

司会：鈴木もえみ氏（フリーアナウンサー つくば市在住）

- ・開催日 令和7年12月21日（日）
- ・会場 鹿行生涯学習センター（行方市）
- ・来場者 210名／308席



2 空があるまち音楽フェス実行委員会主催事業 [当財団は共催]

「空があるまち音楽フェス2026 つながる手と手、心と心。」

- ・開催日 令和8年2月15日（日）
- ・会場 常陸太田市民交流センター パルティホール
- ・来場者 延べ3,500名



3 東海村文化・スポーツ振興財団主催事業〔当財団は共催〕

- ① 東の海からの贈り物「東海村のアーティストをご紹介しますコンサート Vol.11」
杉山なつみ氏（ホルン 東海村出身）、西山ひかる氏（オーボエ 水戸市出身）、岸明日香氏（ピアノ）

- ・開催日 令和8年3月15日（日）
- ・会場 東海文化センター ホール
- ・曲目 モーツァルト：ホルン協奏曲第1番ニ短調 K.412 他
- ・来場者 186名／800席



- ② 吉田沙保里氏（元レスリング選手）トークショー
「夢の実現へ ～チャレンジすることの大切さ～」
司会：高森てつ氏（アリーナMC、イベントMC、プロデューサー）

- ・開催日 令和8年3月18日（水）
- ・会場 東海文化センター ホール
- ・来場者 662名／800席



2-2 親と子のふれあい劇場の開催

[ひたち親子の広場の主催、当財団は共催]

ひたち親子の広場または水戸こどもの劇場との共催で、優れた劇団による子どものための舞台劇の上演など、親子が一緒に文化芸術を体験できる場を提供する。

○ NPOひたち親子の広場 第161回鑑賞会

オペラシアターこんにゃく座公演

「ルドルフとイッパイアッテナ」

- ・開催日 令和8年3月14日(土)
- ・会場 ゆうゆう十王・Jホール(日立市)
- ・来場者 235名/502席



※ オペラシアターこんにゃく座

1965年、東京藝術大学声楽科3年生の6名により、「こんにゃく体操クラブ」が結成される。学内の芸術祭での「ラ・ボエーム」(プッチーニ作曲)や「あまんじゃくとうりこひめ」(林光作曲)などの上演を経て、言葉(日本語)がはっきりわかるオペラを創作・上演する目的で、1971年には有志8名によって「オペラ小劇場こんにゃく座」を結成し、1974年に本格的な旗揚げ公演をおこなう。この年の9月13日の「あまんじゃくとうりこひめ」北海道公演を林光が見に行ったことから、こんにゃく座は林光を音楽監督として迎える道を進む。

座は次第に拡大していき1984年5月にはモーツァルトのオペラ「フィガロの結婚」を上演するが、それに燃え尽きてしまったかのようにこの頃から解散への動きが強まっていく。しかし各々がこんにゃく座を続けていくことの確認、準備を重ね、1985年には残った6名で新たに活動を続けることを決意する。この時に名前を「オペラシアターこんにゃく座」と改め、現在に至る。

(フリー百科事典『ウィキペディア』より)

※ ルドルフとイッパイアッテナ(齊藤洋の児童文学作品)

飼い猫のルドルフは、魚屋から逃げてうっかり長距離トラックに乗ってしまい、知らない大都市へ運ばれてしまう。途方に暮れているところで現地の野良猫の親分に出会う。ルドルフが親分に名前を訊ねると、「おれの名前はいっぱいあってな……。」との答えが返ってきた。しかしルドルフは親分の名前が「イッパイアッテナ」であると勘違いしてしまう。そこから、ルドルフと「イッパイアッテナ」の生活が始まった。

(フリー百科事典『ウィキペディア』より)

2-3 茨城県民駅伝競走大会の開催

[県スポーツ協会の主催、当財団は共催]

県スポーツ協会との共催で、市町村、職域及びクラブ対抗による「茨城県民駅伝競走大会」を開催する。

○ 第42回茨城県民駅伝競走大会

- ・開催日 令和7年12月13日（土）
- ・会場 笠松運動公園 周回コース（1区間 3.2km）
- ・参加者 93チーム 667名

・市町村対抗の部（6区間 19.2km）

- | | |
|---------|---------|
| 参加21チーム | 1位：北茨城市 |
| （19市） | 2位：日立市A |
| | 3位：那珂市 |

・職域対抗の部（5区間 16.0km）

- | | |
|---------|------------|
| 参加32チーム | 1位：笠間市役所 |
| | 2位：茨城県庁 |
| | 3位：日本製鉄鹿島A |

・クラブ対抗の部（5区間 16.0km）

- | | |
|---------|-----------|
| 参加40チーム | 1位：KINS-A |
| | 2位：我流AC-A |
| | 3位：心走クラブA |



2-4 げんでんサッカーフェスティバルの開催

[フットボールクラブ水戸ホーリーホックの主催、当財団は共催]

水戸ホーリーホックとの共催で、主に県内各地域のスポーツ少年団やクラブチーム、サッカースクールに通う子どもたちを対象にしたサッカーフェスティバル等を開催する。

① サッカーフェスティバル

- ・開催日 令和7年7月12日（土）
- ・会場
ケーズデンキスタジアム サブグラウンド
- ・内容
スモールサイドゲーム
キッズサッカー体験教室
なでしこサッカー教室
- ・参加者 240名



② ファミリーフットゴルフ大会

- ・開催日 令和7年11月30日（日）
- ・会場 国営ひたち海浜公園
- ・参加者 年中・年長、小学生とその保護者
17家族64名



③ 親子講習会&ミニゲーム大会

- ・開催日 令和8年1月17日（土）
- ・会場 城里町七会町民センター「アツマーレ」
- ・講習会
「子どもの成長期における怪我とその予防」
講師：道場悠介氏
(水戸ホーリーホックトレーナー)
- ・ミニゲーム大会
- ・参加者 小学3～6年生とその保護者
31家族70名



2-5 げんでんふれあいバスケットボール教室の開催

[茨城ロボッツ・スポーツエンターテイメントの主催、当財団は共催]

茨城ロボッツとの共催で、主にバスケットボールを経験したことのある小学生を対象にしたバスケットボール教室を開催する。

○ げんでんふれあいバスケットボール教室

・開催日、会場、参加者

令和7年12月	6日(土)	池の川さくらアリーナ(日立市)	小学1～3年生	21名
"	21日(日)	東海村総合体育館	" 1～6年生	48名
令和8年	1月31日(土)	池の川さくらアリーナ	" 4～6年生	19名
"	2月7日(土)	"	" "	16名
"	14日(土)	東海村総合体育館	" 1～6年生	46名
				延べ150名



2-6 狂言鑑賞会の開催

[茨城新聞社の主催、当財団は共催]

茨城新聞社との共催で、狂言師による狂言鑑賞の心得等の解説や実技指導をとおして、日本古来の伝統芸能である狂言をより身近なものとして体感できる「狂言鑑賞会」を開催する。

○ 狂言鑑賞会

- ・開催日 令和8年2月1日（日） 11時～ ワークショップにて狂言の実技指導
14時～ 鑑賞会
- ・会場 ひたちなか市文化会館 小ホール
- ・演目 狂言解説：瓜盗人（うりぬすびと）
狂言：二人大名（ふたりだいみょう）
ワークショップ参加者による狂言披露
狂言：隠狸（かくしだぬき）
- ・出演者 三宅狂言会（特別出演：三宅右近氏）
- ・ワークショップ参加者 31名
- ・来場者 約200名／409席



※ 狂言

日本には、いろいろな種類の演劇や芸能があり、その中で、狂言は、能とともに室町時代に完成し、650年という長い歴史をもつ演劇です。

能と狂言をあわせて、現在では能楽と呼びます。

能楽は、奈良時代に中国から伝わった散楽という芸能がもとになっています。軽わざや歌やおどりなど、さまざまな芸を見せる能楽は、平安時代から鎌倉時代に、猿楽とよばれるようになりました。そして猿楽のなかの、歌や舞いを中心とする悲劇的で幻想的な劇が能となり、パントマイム的な演技やおもしろおかしいセリフを中心とする劇が、狂言になっていきました。

能と狂言は、同じ能舞台上、いっしょに演じられて、兄弟のような関係にあります。能楽は、足利幕府や徳川幕府などの武家に大人気でした。明治の中ごろからは、多くの人々から親しまれるようになり、今では世界中から注目されています。

(一般社団法人 三宅狂言会 HP より)

2-7 水戸室内管弦楽団定期演奏会（春・秋）への支援

[水戸市芸術振興財団の主催、当財団は特別協賛]

水戸芸術館の専属楽団「水戸室内管弦楽団」が、春と秋に開催する定期演奏会を支援する。

① 第115回定期演奏会

- ・開催日 令和7年5月16日（金）、17日（土）
- ・会場 水戸芸術館コンサートホールATM
- ・曲目 シューマン : 交響曲第2番ハ長調 作品61
ベートーヴェン : ピアノ協奏曲第2番変ロ長調 作品19
- ・演奏者 マルタ・アルゲリッチ氏（ピアノ）、広上淳一氏（ひろかみじゅんいち 指揮）
- ・来場者 16日656名、17日680名 / 680席

② 第116回定期演奏会

- ・開催日 令和7年11月1日（土）、2日（日）
- ・会場 水戸芸術館コンサートホールATM
- ・曲目 モーツァルト : ピアノ協奏曲第20番二短調 K.466
ベートーヴェン : ピアノ協奏曲第4番ト長調 作品58
- ・演奏者 ルドルフ・ブッフビンダー氏（ピアノ）
- ・来場者 1日614名、2日651名 / 680席



※ 水戸室内管弦楽団（その1）

水戸室内管弦楽団は水戸芸術館の専属楽団として、1990年の開館と同時に初代館長・吉田秀和の提唱により誕生、日本を代表する音楽家である小澤征爾が存命中の2024年2月まで総監督、指揮者としてその運営にあたりました。メンバーはソリストとして、またオーケストラの首席奏者として、世界的な活躍を続ける17名の日本人音楽家および5名の外国人音楽家たち。水戸芸術館コンサートホールATMで定期演奏会を行っており、音楽家たちは、演奏会の度に世界各地から水戸芸術館に集まり集中的にリハーサルを行います。

（水戸室内管弦楽団公式サイトより）

2-8 音楽出前講座への支援

[いばらき文化振興財団の主催、当財団は協賛]

新進演奏家や文化活動団体等を活用し、小・中学生などに優れた音楽文化に接する機会を提供する「音楽出前講座」の開催を支援する。

① 新世紀和楽器コンサート in 守谷 ワークショップ 樋口景山氏（守谷市出身）他による尺八演奏の講習

- ・開催日 令和7年7月19日（土）
 " 8月10日（日）
 " 23日（土）
- ・会場 守谷市中央公民館 美術室
- ・参加者 小学生13名とその保護者10名



② 新世紀和楽器コンサート in 守谷 取手聖徳女子高等学校箏曲部（そうきょくぶ）・箏曲部OGによる箏（こと）演奏 ワークショップ参加者「おやこ尺八隊」及び講師による尺八演奏 樋口景山氏、守谷市文化協会会員等による和楽器演奏

- ・開催日 令和7年8月30日（土）
- ・会場 守谷市中央公民館 ホール
- ・来場者 316名／395席



2-9 子どものための音楽会の開催

[水戸市芸術振興財団、水戸市教育委員会の主催、当財団は共催]

水戸市芸術振興財団との共催で、水戸市内及び周辺市町村の小学5年生や県立盲学校、水戸市内の特別支援学校の児童・生徒など約2,500名を対象に、水戸室内管弦楽団による「子供のための音楽会」を開催する。

○ 子どものための音楽会

- ・開催日 令和7年10月31日（金）
- ・会場 リリーアリーナMITO（水戸市）
- ・曲目 グリーク : 組曲「ホルベアの時代」から第1局前奏曲
モーツァルト : ピアノ協奏曲第20番ニ長調 K.466 第1楽章
ベートーヴェン : ピアノ協奏曲第4番ト長調 作品58 第3楽章
- ・演奏者 ルドルフ・ブッフビンダー氏（ピアノ）
- ・楽器紹介 弦楽器、管楽器、打楽器
- ・参加者 51校 2,931名



※ 水戸室内管弦楽団（その2）

水戸室内管弦楽団の特性は、いわば「2つの顔」を自由に使い分けられることにあります。

ひとつは「指揮者を置かないアンサンブル」としての顔。それぞれが高度な演奏技術と音楽性を身につけた音楽家たちによる入念なリハーサル積み重ねによって、深い相互理解に満ちたアンサンブルが可能となり、結果として、室内乐的な細やかさとオーケストラのスケール感を共に備えた響きが創りだされるのです。

そして、そこで培われた演奏能力は、もうひとつの顔である「指揮者に率いられたアンサンブル」となった場合にも十分に発揮されます。様々な個性の指揮者に出会ったときでも、水戸室内管弦楽団はメンバーの間にいわば共通の音楽言語が浸透しているため、その指揮者の音楽性に即座に適応しながら、自分たちの音楽を奏でることができるのです。

（水戸室内管弦楽団公式サイトより）

2-10 花いっぱい運動定着化促進事業の実施

[チャレンジいばらき県民運動の主催、当財団は共催]

チャレンジいばらき県民運動との共催で、花壇づくりを通じて地域コミュニティの再生・活性化を図る「花いっぱい運動」に継続して取り組んでいる、または取り組もうとしている各種団体や学校に対し、花壇づくりの費用を助成し、併せて認定証を交付する。

○ 認定証交付式

・開催日 令和7年12月10日（水）

・会場 水戸市植物公園

・認定件数／応募件数

団体の部：22団体／43団体、学校の部：4校／10校

・助成内容 花いっぱい運動を継続して進めていくための費用

（花壇の造成費用、シャベル等の道具購入費用、花の種や苗等の購入費用等）



2-11 小規模支援事業の実施

[各種団体等の主催、当財団は協賛]

「ふれあい」及び「ゆとり」の創造に関する事業の種類に合致し、各種団体等が取り組む特色のある記念行事など、時限的な事業を支援する。

1 ひたち親子の広場 設立25周年記念事業

・主催 ひたち親子の広場

① リコーダーファミリーコンサート

- ・開催日 令和7年6月29日（日）
- ・会場 滑川交流センター
- ・参加者 104名

② アニバーサリーフェスティバル

「人形劇と和太鼓を楽しもう」

- ・開催日 令和7年11月9日（日）
- ・会場 県北生涯学習センター
- ・参加者 102名

③ もっとオペラを楽しむためのおはなし会

- ・講師 大津香津子氏
(ひたち市民オペラ合唱指導者)
- ・開催日 令和8年2月14日（土）
- ・会場 中小路交流センター
- ・参加者 23名



2 全国高校生アマチュアバンド選手権 TEENS ROCK 2025 IN IBARAKI（関東地区大会）

本県及び近県の高校生バンド14組による演奏及び表彰

・主催 ひたちなか青年会議所

- ・開催日 令和7年7月6日（日）
- ・会場 club SONIC mito（水戸市）
- ・来場者 約300名

